前小施町町長 故 市村良三氏とくまがや小麦の会の思い出

2013年11月30日　於：立正大学（熊谷）講堂「北部地域NPO等交流会」

市村前町長が基調講演で「協働と交流のまちづくり」を講演

小麦の会の日向会長が事例発表でくまがや小麦の会の活動を発表した。

2014年5月20日
くまがや小麦の会は
43名のバスツアーで
小布施町を訪問

北斎館 市村家の畑だった土地に建設した。傍らにそびえるメタセコイア大木は、市村町長が幼いころ、この近くで遊ばれたと伺った。

人口1万2000人の小布施は年間観光客110万人が訪れる観光客を実現した

市村町長宅でビール乾杯

小林竜也
遠藤昭雄
日向美津江
市村町長
石川勉
冨田重直
埼玉県主催「北部地域街づくり交流会」

市村良三町長と会長

郷土の生んだ偉大な作家森村誠一氏を偲んで

2023年7月24日、作家森村誠一氏が90年の生涯を閉じられました。熊谷生まれの森村誠一氏は生涯413作品を生みだされました。そのジャンルは推理小説、社会派小説、歴史小説、ノンフィクション、エッセイ、写真俳句、詩と何でも書けてしまう、フリージャンル作家、それは松本清張以来かもしれないねと、ご本人もおっしゃっていたそうです。一ヶ月最大　12本の連載を執筆していた事もあるそうです。その時は1日12時間執筆に費やし、書斎にあった3台の机を、1台は推理小説、1台は歴史小説、もう1台はエッセイ・ノンフィクション用とされ、それぞれの机の前に座るとスイッチが入るとおっしゃっていたとのこと。

熊谷市立熊谷図書館、郷土資料展示室に「森村誠一文芸の館」があります。2016年、森村氏から寄贈された404タイトル、約1500点のご自身の本を展示しました。氏の希望に沿い、書斎風にコーナーが作ってあります。

2022年3月リニューアルオープンし、少し広くなりました。書籍も発刊された書籍をその都度足し、413タイトル全て網羅されています。机は森村氏の使っていた机に一番近いものを購入し、椅子は実際森村家の書斎で使われていた椅子をもらい受け展示しています。

壁に並んだ本の数に圧倒されます。それが全て森村氏の執筆したものだという事実にはもっと圧倒されます。本だけでなく、小説を書く前に、構想を練ったノート（プロットといいます）も展示されていますが、その細かな構想、人物設定等々、素晴らしいです。

熊谷市立熊谷図書館　3階　郷土資料展示室「森村誠一文芸の館」に訪れ、郷土の偉大な作家森村誠一氏を是非身近に感じてみてください。（O）

ラグビー神社 建立4周年

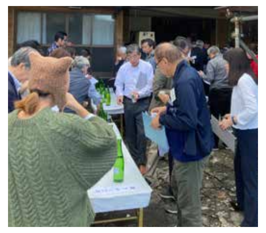
元治元年創業の老舗菓子店「梅林堂」箱田本店内にあるラグビー神社（正式名称「寿康神社」）は、「地域の皆さま、熊谷に来る皆さまに幸多からんことを願う神社」として2019年9月、RWC日本大会の開催に合わせて建立。ガラス製ラグビーボール型のご神体内部には市内神社から天手力男命が分霊されている。ご利益は、開運、必勝、商売繁盛、無病息災、疫病退散、等々で、春と秋には大祭を執り行う。店内北側の一角にある同神社は誰でも自由に参拝することができ、買い物と合わせてお詣りする来店客も多く、集まったお賽銭は熊谷市のスポーツ振興のために寄付している。

同店では埼玉ワイルドナイツの活躍と地域活性化のために、選手を迎えてサイン会などのイベントを開催。ラグビーロード店では熊谷ラグビー場で行われる試合の日に、観戦後に徒歩や自転車で帰宅するファンへ、生サブレ「やわらか」1枚を配布するなどラグビータウン熊谷を盛り上げている。（R）

ラグビー神社
ラグビー神社
梅林堂箱田本店内ラグビー神社

「直実」の蔵元で「日本酒を楽しむ集い」

10月21日、22日、熊谷唯一の造り酒屋の権田酒造株式会社で「第　34回日本酒を楽しむ集い」が開催された。コロナ禍で4年ぶりとなる開催を待ちわびていた100名を超える参加者が全国各地から集い、利き酒や酒宴を楽しんだ。一昨年から後継者の若い兄弟が中心となって酒造りを行っているこの蔵では、酒質の向上や新しい味わいの創出に向けて様々なチャレンジを続けている。賞を頂く機会も増え輸出も始まった。そんな日本酒の幅広さや奥深さと、酒縁の繋がりを味わえる心地良い会であった。日常生活が戻りつつある中、こうした交流の場がもっと増えていって欲しいと願う。（G）



國學院大學博物館企画展

好古家の実相 ー 北武蔵青山村根岸家伝来の文化財 ー

時期　令和6年初春予定（1月〜）

（詳細は博物館ホームページをご確認ください）

熊谷市大里地域の名家・根岸家は、江戸時代末期から明治期に掛けて友山・武香の親子が活躍したことで知られる。現在の考古学や民俗学の研究を進めながら、多くの資料を収集する「好古家」として近代日本の学術発展に貢献した。今回の企画展では、同家で保存されている出土品や絵画など貴重な資料が特別展示される。（Y）

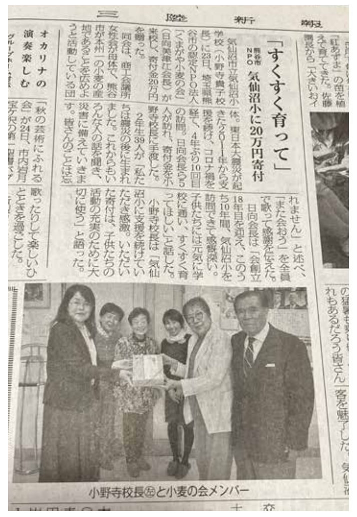
歴史的建造物の「根岸家長屋門」

気仙沼市立気仙沼小学校訪問を終えて

令和5年10月23日（月）、気仙沼小学校訪問をさせていただきました。10回目となる今回は日向美津江会長、吉田嘉高副会長他2名での訪問でした。現地では第1回目より埼玉（深谷市）出身、気仙沼在住の小山敏江さんにお世話になりました。

震災以来気仙沼小学校は4人目の校長先生となられ、第48代目の小野寺貴子校長先生に温かく迎えていただきました。当会員の皆様にご協力いただきました義援金20万円を会長より校長先生にお渡しさせていただきました。現在の児童数は228人。全員震災後に生まれた子ども達とのこと。歳月の流れの速さに驚きつつも、街並みもこの12年間で見事に復興整備され、穏やかな日常生活が戻っているように感じられました。

校内のホールでは2年生全員が集合し、歓迎のセレモニーを開催してくださいました。言葉のリレーでは子ども達ひとり一人が体中で大きな声を張り上げて感謝の気持ちを述べられ、続いて全員合唱で「また会おう」を歌ってくださり、子ども達の明るい歌声に感動した訪問でした。（M）


三陸新報

熊谷市NPO　気仙沼小に20万円寄付

「すくすく育って」

気仙沼市立気仙沼小学校（小野寺貴子校長）に23日、埼玉県熊谷市の認定NPO法人「くまがや小麦の会」（日向美津江会長）が来校し、寄付金20万円を贈った。

同会は、商工会議所女性会が母体で、熊谷市が本州一の小麦の産地であることを広めようと活動している団体。東日本大震災が起きた2011年から支援を続け、コロナ禍を経て、4年ぶり10回目の訪問。日向会長ら5人が訪れ、寄付金を小野寺校長に手渡した。

2年生39人が「私たちは震災の後に生まれました。これからもいろんな人の話を聞き、災害に備えていきます。皆さんのことは忘れません」と述べ、「また会おう」を全員で歌って感謝を伝えた。

日向会長は「会創立18年目を迎え、このうち10年間、気仙沼小を訪問できて感慨深い。子供たちには元気に学校に通い、すくすく育ってほしい」と話した。

小野寺校長は「気仙沼小に支援を続けていただき感激。いただいた寄付は、子供たちの活動の充実のために大切に使う」と語った。

小野寺校長㊧と小麦の会メンバー

一粒の麦句会

熊谷も夕日まばゆき雲雀かな　蕪村
陽炎やむつましげなるつかと塚　一茶
十薬の垣根続きや百姓家　虚子
若笹の葉よりも青き鱒あそぶ　青邨
水濡れの鴨よ富士襲うか吾を襲うか　兜太

熊谷市内の神社仏閣等には、俳聖芭蕉の句碑が多く点在しています。

右に挙げた句は、江戸時代から今日までの俳句を牽引した作家たちが、熊谷で詠んだ作品です。熊谷という俳句の素地のある地に「くまがや小麦の会」の活動の一つとして「一粒の麦句会」が発足して、まる4年になります。

この間のコロナ禍、メールによる句会を続けてきましたが、来年からは対面の句会を増やして、心機一転吟行句会も、と考えております。興味のある方のご参加お待ちしています。

飛鳥　蘭

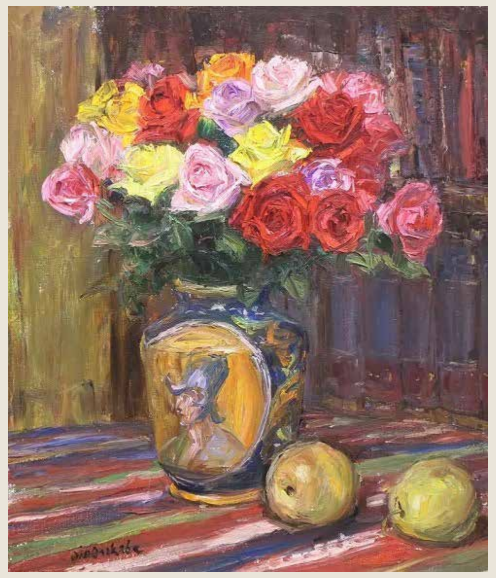
対面句会予定日　令和6年2月17日
木曽路　11時〜14時
熊谷市本町1-77
TEL 599-1631

申込先
住所　熊谷市中奈良1797-1
電話　090-3225-7687（日向）
FAX　048-521-7900

福祉は文化

施設内美術館　新光苑美術館

第6回　刑部人　端正なる空間と色彩


刑部人《薔薇》油彩　F10

画家の刑部人（おさかべ じん 1906-1978）は、栃木県下都賀郡家中村（現在の都賀町家中）に生まれた。教育者であった父の影響から、幼い頃から絵画に関心を持ち、小学校時代から川端竜子、鶴田吾郎などの指導を受けた。東京府立第1中学校（現在の東京都立日比谷高等学校）を卒業し、東京美術学校（現在の東京藝術大学美術学部）に入学し和田英作に師事。在学中に帝展に入選するなど早熟の才能を発揮した。美術学校を優秀な成績で卒業した後、帝展、文展などに出品し、精力的に油彩作品を発表した。

1940年からは東京高等工藝学校（現在の千葉大学工学部）で後進の指導に力を注いだ。戦後は私淑した金山平三とともに日本各地を旅し、数多くの風景を描いたことで知られる。日展審査員などを歴任し、公募点が有する芸術的評価の向上を唱え、美術研究及び油彩教育を新たに開拓する必要性を問い続けた。

美術史家の高階秀爾氏は、刑部作品について「実際に風景を前にして制作された作品が多く、芳醇な色合いや変化を捉えた光陰、穏和な雰囲気を醸し出した上で眼前の空間を的確に描いている」と語る。

晩年は、ペインティングナイフを多用した大胆な作風を展開した。没後、栃木県立美術館で開催された刑部の企画展では「一見無造作に置かれたかに見える絵具が、刻々と移り変わる自然の色彩や質感を見事に描きだしていくさまは、まさに刑部の独壇場」として、世代を超えて人気を集めた刑部芸術の到達点について解釈したことが記憶に残る。

刑部は風景画と静物画に自身の精神性や美学を傾注したと考えられる。国内の美術館で所蔵されているキャンバス作品のほか、素描、水彩、スケッチブックなどからは、四季折々の美しい風景や、机上の生命感を維持した静物に対する愛着を感じることができる。

新光苑美術館に収蔵されている《薔薇》は、小品ながら華麗な薔薇の印象を強くし、端正なる空間と色彩を刑部流に表現した名作であると言えよう。深紅、薄紅、薄紫、橙色、黄色の花弁と、深緑の葉を、人物像の絵柄が描かれた花瓶が支える。色鮮やかな薔薇と対峙するかのような机上の線形装飾布と洋梨2つ。茶系の背景が空間全体に安定感を与えることで、薔薇が際立つ効果を生み出している。ペンディングナイフによる大胆な筆致と花弁の繊細な描写が、画布上で好対照を為し、鑑賞者を魅了し続けている。ふと、フランス6人組、アルテュール・オネゲルの「チェロソナタ ニ短調」が響き、薄紫の薔薇にカーテン越しの光が当たる瞬間を想像してしまうのである。（Y）

参考：「刑部人」『日本美術年鑑』昭和54年版
「刑部人 日本美術年鑑所載物故者記事」（東京文化財研究所）

セレモニーホール　埼玉県熊谷市の葬儀場
ゆうえん
年中無休・24時間
お急ぎの方
0120-136-444
亡き人に心をこめて　JA くまがや指定
万一の場合は当ゆうえんにご相談下さい。
生花祭壇　生前予約葬　ゆうえん友の会
〒360-0813 埼玉県熊谷市円光 1-17-13
TEL：048-525-5444・FAX：048-525-5446

立正幼稚園は 令和元年度より
認定こども園 立正幼稚園 となりました
2才児教室
Little Ricky
Rissho
Kindergarten
森のある幼稚園にようこそ
学校法人
熊谷立正学園
認定こども園
立正幼稚園
http://www.rissho.ed/jp/
埼玉県熊谷市楊井1748-2
TEL.048-536-1688
FAX.048-536-2168
Facebook で
いいね！してね
立正幼稚園公式
Facebook ページがあります
スマートフォンからも
園の情報をチェック

吉田・櫻井税理士法人
税理士 吉田 貴之
税理士 櫻井 富美子　税理士 吉田 嘉髙
〒360-0014　熊谷市箱田2-2-8
TEL:048-521-0334　FAX:048-521-4506

くぼじまグループ
くぼじまクリニック
KUBOJIMA CLINIC
理事長・院長　大島 譲二
●総合内科（かかりつけ医）
●人工透析
〒360-0831
埼玉県熊谷市大字久保島1785-2
電話:048-533-7511（代）　FAX:048-533-4606
医療グループ・クリニック
くまがやクリニック 熊谷市大原　かみのクリニック 熊谷市上之　おおしまクリニック 深谷市上柴町西　こくさいじクリニック 深谷市国済寺
http://www.kubojima.com/home.html

一般住宅・工場・官庁等の外壁塗装
株式会社カミノ塗装
お見積り無料
お住まいの塗替えをお考え、塗装業者を
お探しでしたら、カミノ塗装にお任せ下さい！
お見積り無料で外壁の状態、お調べします。
〒360-0022　熊谷市戸出 228 番地 2
TEL･FAX　048-523-1739
携帯　090-6119-3045（担当：上原まで）
Mail　kamino@pg7.so-net.ne.jp

株式会社 平 松
代表取締役 日向研一朗
歴史が育む無限の可能性…地域密着・食品卸売業
原材料食品は包材まで御用命下さい
We are HIRAMATSU
〒360-0801 埼玉県熊谷市中奈良1797-1
TEL：048-521-0026
●ビッグベアショッピングモール（埼玉県熊谷市代1067）
ケーズデンキ・トイザらス・スポーツオーソリティー・すたみな太郎・大勝軒
●平松運輸株式会社（埼玉県熊谷市中奈良1797-1）

熊谷の風土と歴史の香りをお届けします
モンドセレクションで5点入賞の蔵元で造られたビールです。
勇猛奮戦 熊谷宿ビール
優れた純度を保つための、有機特別栽培の麦芽100%使用のコクと爽やかな旨みを生み出したビールです。
そら豆の焼酎 豆蔵
今、話題の焼酎！
「ゆでたてのそら豆の風味を、そのまま生かした若々しい香りと豊かなコク。」日本で初めてのそら豆の焼酎です。
小麦の語らい
熊谷産小麦・米 100%使用
全国有数の小麦の名産地、熊谷で造られたさらりとした口当たりの小麦焼酎です。
近江屋酒店
定休日:日曜日
http://www.oumiyasaketen.com/
熊谷市肥塚4-7 TEL.048-521-1009 FAX.048-521-3198

佐藤測量設計株式会社
本社
〒270-1154 千葉県我孫子市白山2-13-11
TEL･FAX：04-7182-0207
東京営業所
〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-9-2
TEL 03-5216-2377　FAX 03-5216-2376
技術センター
〒270-1166 千葉県我孫子市我孫子 4-30-8-106
TEL 04-7100-3015　FAX 04-7186-0207